

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2371100948		
法人名	株式会社フレンズハウス		
事業所名	グループホーム フレンズハウス七反野		
所在地	名古屋市港区七反野一丁目904 (電話) 052-303-2256		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A		
訪問調査日	平成19年6月4日	評価確定日	平成19年7月13日

【情報提供票より】(平成19年5月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	17年12月1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18 人
職員数	20 人	常勤 7人, 非常勤 13人, 常勤換算 5.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,500 円	その他の経費(月額)	31,500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(172,500 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(平成19年5月3日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名	
要介護1	1名	要介護2	5名			
要介護3	10名	要介護4	2名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	83歳	最低	76歳	最高	92歳
協力医療機関名	医療法人まいさ会 近藤クリニック					

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路から一筋入った住宅街の中にあり静かな環境とお年寄りが好きな職員に恵まれ入居者は明るくゆったりと生活している。畑の野菜の手入れ、収穫、庭の池に泳ぐ鯉を見ながらコーヒータム。そして広いウッドデッキでのバーベキューや餅つき等、地域の人達とも交流が深まっている。職員は地域の人が多くオーナーも地域消防団長であることから地域の情報も得やすく、協力、コミュニケーションもとりやすく、活動を広げてゆける条件が整っている。開設1年半にして必要書類が非常によく完備され、管理されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との交流や連携に対して毎日の散歩の際、手袋とゴミ袋を持ってゴミ拾いをするようにした。また、玄関に介護相談受け入れの張り紙やこども110番の案内も出している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	忙しい業務の中ではできなくて職員は自宅に持ち帰り一週間かけて仕上げ、とても大変だったが積極的に取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町内会に加入しており町内会役員の方が運営推進会議の委員でもあり協力が得られやすく、地域の方からの助言等をミーティングの際に報告しサービス向上に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会時には必ず入居者の近況を伝え意見や要望を聞いている。外部評価結果が出た後、家族会を開催して報告し意見や要望を聞いている。今年度は初夏に予定している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	職員は地域の人が多く、行事案内や地域の情報も早くとれ地域とのコミュニケーションがとりやすい。出席はしていないが町内会に加入しており、地域の行事にも誘いがかかり盛んに参加、交流している。2カ月に1回、運営推進会議に町内会の人も参加しており協力、連携体制がある。ホームのオーナーが地域の消防団長であり、災害時の協力体制が得られやすい。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの理念として「誰とでも挨拶、気軽に立ち寄れる雰囲気づくり、楽しみながら地域行事への参加」を額に入れ各ユニットに掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時に理念の説明を受け自分の心に留めている。また、日々介護の流れの中で理解している。管理者はミーティングの席で実践が理念に基づいたものになるよう職員に話している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	出席はしていないが町内会に加入しており、地域の行事にも誘いがかかり盛んに参加、交流している。2カ月に1回、運営推進会議に町内会の人も参加しており協力、連携体制がある。ホームのオーナーが地域の消防団長であり、災害時の協力体制が得られやすい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し評価結果も討議し改善に取り組んでいる。今回の自己評価100項目は忙しい業務の中で大変だったが積極的に取り組んだ。地域の人々が買物帰りにコーヒーを飲み立ち寄ってくれたり、介護相談に立ち寄ってほしいと考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2カ月に1回の運営推進会議に町内会の人も参加しており協力、連携体制がある。外部評価の結果も報告し、質疑討論している。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	港区事業者会に参加し区役所の方や区社協の方の意見をいただいている。		
4.理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	3カ月に1回のカンファレンスには家族に出席を呼びかけ参加してもらい状況報告や計画、見直しにつなげている。金銭管理ノートを示し捺印をもらっている。面会時には必ず家族に近況報告をし、フレンズ通信を2カ月に1回発行し、入居者の暮らしぶり等知らせている。必要が生ずれば電話連絡も行っている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	面会時には、近況報告を行い意見や相談等も受けようとしている。外部評価結果が出た後、家族会を開催して報告し意見や要望を聞いている。今年度は初夏に予定している。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	新入社員の紹介や異動職員の説明を随時行っており、不安にならないよう説明している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が交代で法人内外の研修を受け月1回のミーティングの後、伝達講習を行う。出席できない職員には資料を配布している。毎日の介護の中で先輩と新人と組んで学び合いながら育てている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>3カ月に1回、港区の事業者会に参加し情報収集や連携に努めている。また、グループホーム協議会にも参加している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居を受け入れ、本人、家族にも納得して不安なく入居していただけるよう努力している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として入居者から学ぶことも多く、職員と入居者は一緒に生活する中でお互いに支え合っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員からは皆お年寄りが大好きですとの話が聞かれた。各々の生活歴や身体状況を把握し相手の身になって日常生活の中でのつづやきや顔色から本人の意向を読み取る努力をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式で行っている。できること、できないことシートやアセスメント等で担当者が特に密に接して計画し、月1回のカンファレンスやミーティングの中で話し合い関係者（作業療法士、理学療法士）、家族も参加同席してもらい、要望等取り入れ介護計画に反映させ、定期的に見直しをしている。最終決定は管理者が行う。毎日の申し送りノートで確認し共有している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>家族も参加してカンファレンスを3カ月毎に開催し定期的に介護計画を見直している。月1回のミーティング時には、入居者の状態について検討、討議し必要が生じれば計画の見直しをしている。状況変化がなくとも3カ月毎に見直し新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>多機能的支援は規格的に現在は無理だが状況によっては柔軟に対応していきたいと考えている。以前、職員の勤務時間を考慮し事業所独自の託児室を持ち、下校後の学童を預かっていた。入居者と交流する自然の形態があり、今後必要があれば活用し柔軟に支援していく予定である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関により週1回の往診と24時間対応と相談ができる。他の医療機関への受診の結果情報は家族から受け個人ファイルに記入。処方箋は受け取りこちらで対応できるものは対応していく方向である。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に本人、家族に説明し提携医とも連携を取りながら看られるだけ見ていこうの方針である。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人記録等は人目に触れない事務所に保管している。居室を開け放しておきたい人には暖簾をかける。人に聞かれたくないことは別の場所で話す等配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日常介護や会話の中で生活歴や行動パターンや希望、意向等を知りそれに沿うようにしている。 (居酒屋ツアー、温泉ツアー、月1回フラワーアレンジメント等)</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者も職員と一緒に準備や後片付けに参加しており、希望者が多く喧嘩になるので現在は当番制にしている。食事には畑で採れた季節季節の野菜が並ぶこともある。布巾やまな板の消毒は毎回行われ包丁等の保管も危険のないよう配慮され保管している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には1日おきの午後であるが希望があればシャワー等で柔軟に対応している。入浴を拒否される人には無理じいしないで気長に入浴を促す努力をしている。1階浴室からは玄関水槽の熱帯魚が眺められる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できること、できないことシートを作り、生活歴や生活習慣に合わせ、できること、やりたいこと、好きなことをやれるように役割等も作り楽しんでやれるよう支援している。(洗濯物の取り入れ、野菜作り、花の手入れ、動物好きな人には猫の世話等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩、週1回の外出や買物、地域の行事参加等ホームに閉じこもらない生活の支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関、居室とも鍵はかけていない。18時に施錠し夜勤者が新聞を取りに行き7時に錠をあげる毎日である。玄関に人感センサーはあるが使用した事はない。職員は皆、鍵をかけることの弊害をよく理解している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	3か月に1回の防災会議、定期的に火災、防災訓練を実施している。防災マニュアルや緊急連絡網もできている。消防署に協力依頼の挨拶も行っている。区役所の災害講習により家具の固定を行った。6月に職員間の緊急連絡網のシュミレーション実施を予定している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養計算はしていない。栄養士有資格者は1名おり、栄養バランスや季節の野菜を多くとるように心がけている。水分摂取について、日に1000cc～1200ccを目安にし食事摂取量とともに水分摂取量チェックを行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	南向きの広い居間でゆったりとしたソファに座り、好きなテレビを見ている人や、入居者数人がゆったりとティータイムを楽しむ様子が見られた。庭にはテーブルと椅子が用意されている。近くには池に鯉も泳いでいる。畑には数種類の夏野菜が育っている。猫が飼われており入居者の癒しになっている。居間のどのテーブルにも職員が持参する季節の花がいっぱいである。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや整理タンス等、馴染みの品が持ち込まれており、換気、空調も各入居者に対応して配慮されている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。